

まだまだ現役 歌と踊りが大好き

108 歳の
おばあちゃん

安浦町最高齢（呉市で 4 番目）の松井タケさんは、
明治 35 年 10 月 1 日生まれの 108 歳。
安登中央ハイツで元気にお暮らしです。



松井タケさん

写真は、その時、奈良県の 97 歳になる妹さんが逢いにきたときのものです。
お顔に刻まれた皺は、満身に生きた人生の素晴らしい証。
心おだやかでやさしく、とてもかわいいおばあちゃんだと感じました。



97 歳の妹（右側）と一緒に

安登に OPEN

バイク好きな
お好み焼き屋さん



住所 呉市安浦町安登東 6-2-30
電話 080-3884-1113

営業時間
午前 11 時
～
午後 9 時頃



7 年前に安浦町安登へ移り住んだご主人の松本裕規さん。
料理とオートバイが趣味だそうです。自慢のハーレーダビットソンで、ツーリングや野外ミーティングに参加され、バイクを通して仲間を増やし、ブログ（Natural High な単車生活）で情報発信しています。

転機が訪れたのは、昨年 10 月のこと。長年勤めた会社を退職し、自宅ガレージを改造したお好み焼き店「安登鉄板焼製作所・あとてつ」を 12 月にオープンさせました。

もともと料理好きで研究熱心な性格と器用さから、練習を重ね腕はめきめきと上達し、早くも美味しいと評判は上々。

キャベツやネギなどの野菜は、安定した入荷の出来る地元農家があれば、地産地消を目指していきたいと情報を求められていました。

「あとてつ」お好み焼きの特徴は？との問いに、以外にも「昭和の古い感じですかね。」と思いがけない返事でした。

今後は、地域の活動に参加したいと、松本さんから意気込みを熱く語っていただきました。

生き物の楽園！ 三津口湾のアマモ・海ホタル

●三津口湾で広大に広がるアマモ

三津口湾内のアマモは、全国でも有数の規模を誇り、大潮の干潮時には海面に現れて、さながら海中の草原といった景観です。初夏の頃には、小さな白い花を海中で咲かせます。また、アマモ場は多くの生物の産卵と生息の場であり、水質浄化にも重要な役割を果たしています。



三津口湾から見たアマモ

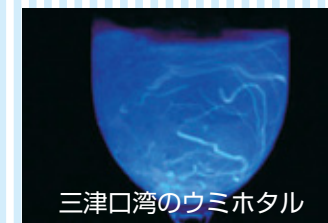
アマモの花

●幻想的な光を放つウミホタル



ウミホタルは全長約 2mm の透明な殻に包まれたミジンコと同じ甲殻類の生物です。主に三津口湾のアマモが生えている砂底に生息しています。昼間は砂の中に隠れていて、夜になると活動します。

青く輝く光の正体は、外敵に対する威嚇として、刺激を受けると盛んに発光します。



三津口湾のウミホタル

数々の伝説が残る

稚児明神祭

4 月 17 日（日）に水尻地区恒例の「稚児明神祭」が開催されました。

ここは昔より、神功皇后が新羅へ出兵するとき、寄港し休息されたという伝説と、山姥が幼子を育

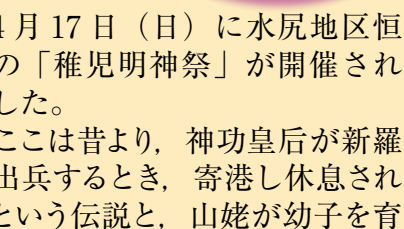
てるのに「乳を給え」と日夜祈願して叶ったとの言い伝えがあり、霊験あらたかな「母の乳の守り神」として有名になりました。

無事の育った稚児と乳母の足跡が残る「乳母の岩」も残っています。

当日は、神社まで皆が船で行き、参列者とともに一年の無事を祈願し、その後は水尻神社で盛大に餅まきを行いました。



稚児明神



神功岩（通称 鬼婆の石）

おでかけ情報

5 月
いなし安浦青空市 5 月 21 日（土）午前 8:00 ～ いなしふれあい広場
稚児公園のつつじ・藤棚 5 月初旬～下旬が見頃です

6 月
安浦ライオンズクラブ写真大会 6 月 5 日（日） 商工会安浦支所前 9:00 集合
ホタル 6 月上旬～中旬 原畑・市原の野呂川沿い
柏島大祭 6 月 11 日（土）・12 日（日） 柏島大社 午前 10:00 ～（三津口港から定期船が出ます）
原畑ホタル会 6 月 11 日（土）午後 6:00 ～ 野呂川工業向かい芝広場
いなし安浦青空市 6 月 18 日（土）午前 8:00 ～ いなしふれあい広場

7 月
キッチンいなし子供料理教室 7 月 3 日（日） 中畑自治会館
七浦海水浴場（波輝カフェ）海開き 7 月 5 日（火）～
グリーンピアせとうちプール＆海開き 7 月 16 日（土）～
いなし安浦青空市 7 月 16 日（土）午前 8:00 ～ いなしふれあい広場

～安浦の観光地を知って～ 看板4基をリニューアル



市原地区

町内の観光名所へのアプローチをわかりやすくしようと、まちづくり協議会の事業企画部会で、稚児公園入口と、中畑から野呂山へ通じる林道「野呂せせらぎロード」への看板を設置しました。メンバー7名が穴掘りから据え付けまで、いい汗をかきながら作業しました。

稚児公園は桜のイラストを入れた明るい内容に。せせらぎロードは山頂へのアクセスをスムーズに「野呂山」を大きく表示しました。

メンバーからは「これから稚児公園の花、野呂川のせせらぎと山頂が美しい時期。再発見してもらえればうれしいですね」と胸を張っていました。



稚児公園入口

壁画アートが完成！

安浦駅北に3月オープンした「安浦駅北3号公園」内のコンクリート壁に、安浦中学校美術部生徒たちが壁画アートを完成させました。

生徒と指導する先生方11名で作業し、服に塗料をつけながら壁のキャンパスに、思い思いのイラストを楽しく描いていました。

生徒からは、「大変な作業だったけどみんなと協力して、いい思い出になった」など、達成感に満ちあふれていました。

殺風景な壁をアートで彩った壁画がお目見えし、いっそう楽しく遊べる町民の憩いの場となりました。



キャンプシーズン到来！

目玉はなんと言っても、無料で使えること。近隣のキャンプ場はほとんど有料が多いなか、キャンパーにとってはうれしい施設ですね。トイレ・水場も完備。近くには多目的広場などスポーツ施設もあります。春は桜、6月はホタルが舞い上がり、幻想的な風景が見れるのも、このキャンプ場ならではの。

テントを張り自然のなかで生活する楽しみ。ご家族・グループでバーベQなど、フィールドで思う存分満喫してはいかがでしょうか。



多目的広場



キャンプサイト



●野呂川ダムキャンプ場

●お問い合わせ先:0823-84-3636 安浦公民館 ※施設使用は無料ですが、届け出が必要です



キャンプ場位置図

新緑目映いシーズン。野呂川ダム周辺に位置する「野呂川ダムキャンプ場」は、豊かな自然に恵まれた閑静なキャンプ場です。

安浦を4地域にわけて歴史や文化を掘り起こす

～ふるさと再発見～

第1回 三津口地区編

やすうら地域学

歩いて探そう
三津口のお宝！



三津口の由来

古くは子の浦が本郷（人家が多くあった）で、女子畑・内海・小松原に通じる三つの道の口であったことから、平安時代には「道口」、時には「三つ口」とも呼ばれた。また、津（みなと）である所から道口津とも呼ばれた。

慶長5年（1600）の頃には、三津口と称した村であった。その後、大正11年に町制に移行し、昭和19年の安浦町誕生まで三津口町として発展した。

1 中の井戸

珍百景



戦前は三津口地区には井戸のない家がほとんどで、たいていの家庭はこの井戸を利用した。8角形の井戸はめずらしい。

4 松井家旧宅（御典医松井俊卓住館）

慶応4年（1868）9月建立

重要文化財



呉市重要文化財



藩に出向く際使用されていた駕籠

松井家は代々医業をもって地域に貢献した。建立時より若干の増改築があるものの、江戸後期の住館が良く保存されている。（内部非公開）

2 岡山医院

モダン建築



約80年前のレトロチックな建物
病院の前は旅館だったとか

3 大師堂 三津口八十八カ所一番札所

文化財



昭和3年
（1928）
建立

三津口八十八カ所めぐりの一番札所

